

# 自蹊庵便り

令和六年 師走

NO 171

「茶事折々」 八十一歳の憂い

今年も無事に口切りを終えることができ  
ました。濃茶・薄茶ともども一席一席茶臼  
にて御参加の皆様全員にお楽しみ頂くこと  
ができ、ほっといたしております。

京都では大徳寺塔頭瑞峯院での口切りも  
五年目を迎えました。これも偏に御参加の  
皆様の御支援・御厚情あつての賜物にござ  
います。

心より感謝申し上げます。しかし乍ら、  
只今、八十の よわい 齢 を過ぎて…と申しますよ  
り、コロナが落ち着いて社会が日常を取り  
戻してまいりますと、スタッフもそれぞれ  
の活動が始動しはじめ、嬉しい事ながら、  
手不足のしわ寄せがじわじわと迫ってきて  
おり、勢いわが身の寝不足が続く現状に至  
っております。

皆様の御活躍を心から喜び、お役に立て  
るものがあれば、心惜しむことはなきこと  
乍ら、物理的な状況を鑑み、スタッフの導  
入も考える必要があるかとも思案しており  
ます。さり乍ら、茶事というもの段取りと  
片付け、掃除を含め作務なくいいとこ取

りは出来ぬもの。体力、知力とも養うには  
最も大切な事ゆえ、参加者、特にレギュラ  
ー者に御協力をもう少し積極的に呼びかけ  
てみましょうか…とも心よぎる日々にござ  
います。

京都組は連泊組の協力の許、何とか廻っ  
てはおりますものの、一部の方の負担が大  
きくなってきたりするようにも思われ、現状  
に甘えてはならないと心戒めている処にご  
ざいます。

千葉県東金組も、連泊組のレギュラー者  
がそれぞれ活動が忙しくなられ、連泊組が  
いなくなりました。特に京都から帰宅し  
てからの土曜日の準備の折のスタッフが少  
なく、眠る時間を縮めて補えるものでもな  
くなつて、限界にきております。

皆々、良く良く誠実に精一杯協力してく  
れております。京都組も千葉組も誠に優れ  
た良き仲間です。同志です。レギュラー者  
イコールスタッフです。茶事のなきときで  
も、時間を作つて、道具片付け、済みを洗  
つたり、灰を整えたり…とそれとなく陰な  
がら補いくれる人々のお陰でようやく廻っ

ております。甘えすぎることのなきよう、  
重々に思いますと共に、皆様の帰路往路  
でのお車で事故に遭われないようにと祈る  
ばかりで、皆様の御好意に甘えている現状  
でございます。

今は男性の内弟子がそれぞれの事情でや  
められ、身近に一人も居ないため、荷の上  
げ下ろしの負担がわが身に重くのしかかっ  
てきております。諸々の事情の中、この度  
は石臼二つ（濃茶席用と薄茶席用）、大徳寺  
での搬入・搬出、東金での荷下ろし…等々、  
男性の協力の手配をするべきであった…と、  
皆様に御負担をおかけしたことを心痛く反  
省しております。

どなたも怪我があつてはならず、お体の  
負担も疲れ過ぎることのなきよう、ほど良  
く楽しく充実した疲れでなくてはなりません。  
ん。

かつてはお客様お一人一人のお顔を思  
い浮かべながら耳に残るお声と会話しなが  
ら、拙い亭主におつきあいくださる皆様へ  
の感謝の余韻の中での片付けであったはず。  
また、ささやか乍ら道具出しの折にもお見

えくださる皆様のお顔を思い浮かべながら、この次はどのようにお楽しみ頂きますようか、持ち合わせの少ない道具ながら、皆様の御協力も賜りながら、茶事という極上の時間をどのように調えるか等々、最も楽しい時間のはずでしたのに、いつしか青息吐息の押つけ仕事になっており、憂い深まる八十路にございます。

かつて、自らを解放し、心から楽しんでいる自分を見つけることができなくなったから、自ら去るといふ胸奥の密かな覚悟も薄ら薄ら見え隠れしつつ、おぼつかなき日々でございます。老いゆく自分との折り合い、厳しい現実には直面しております。

去る人迫わず、来る人拒まずの基本姿勢は変わらずとも信念をもつてやり続けていれば、何かが育ち、生まれ、わずかなながらも茶の湯の世界に一席を投じることが出来るのではないかと。人間の命の根幹とも言える営みをも内に秘めつつ深い芸術性を抱き合わせ持つ茶事に魅せられて、と言いますより、取り憑かれ、今を楽しんでおります。楽しんでいたはずにございます。

尊い時の刻み、これらの上質な時とき、ときとき、季とき というものを生み出すには、自らのプライベートな時の流れがいかに上質な時間で紡がれているかにかかっております。

はてさて、どれほどの上質を掬いとついでるのぞいませう？…

「茶事の出仕事や」として骨を埋めることに決めた五十代からずっと、段取りと片付けの間はさまでの一服はやはり何とも贅沢な人生を歩んでいようでございます。多くの皆様の真心に支えられての今にございます。

皆様お一人お一人の力がついてきておりますゆえ、今少し楽しく見せて頂きたく願っております。

この物理的状況下では、いつかは自分も寝不足からの事故の危険性もあり、十二分に気をつけておりまして、この世に絶対という言葉のなきことを思えば現状を少しずつ細やかに改善をしていく必要に迫られております。

茶事に興味のある若者募集中とでも出しましょうか。いえいえそれは神様にお任せして、今できることは、万年睡眠不足にならないための解決策、追われる仕事でなく一歩先を追いかける、仕事の具体的な対策に智慧を絞りきってみましょう。細やかな努力を楽しみながら、皆様からのお智慧と御協力も賜りながら、皆様と共に手を携え、更なる上質な時を紡ぎ合える智慧を持ちたいと願っております。

さしあたり、千葉県東金組は、改善の必要に迫られております。過日、東金組の皆様達の御意見を参考に、改善を試みました。土曜日の午前中に掃除、道具出しを終え、それには前日の金曜日までに庭と部屋の掃除はあらかじめお手伝いの方々にしておいてもらいます。

土曜日は午前中に水屋と道具出しを終え、翌日の料理とお菓子の下準備を整えるところまでを土曜日のスケジュールとします。日曜日・月曜日の参加者は、午前十一時半の席入りを目標とし、午後四時にはお見送りまでの御挨拶を終え、終了後、一時間から一時間半ほど、翌日の茶事のための下準備をすることに改善してまいります。

令和七年一月より、このシステムで実践してまいりますので、御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

試みの一つを実践するところから、また皆様のお智慧を頂きながら、改善してまいります存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和六年師走吉日

鶴の茶寮亭主

半澤鶴子